

令和6年度第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和6年5月30日(木)
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザ 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後2時45分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 委員 佐藤 正俊
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長：金澤 誠 教育総務係長：武田 瑞穂
教育総務課長：佐藤 義隆 学校給食係長：笹代 孝徳
学校教育課長：茂内 公貴 学校教育係長：藤田 学
生涯学習課長：山本 明美 生涯学習係長：中島 礼美
文化財係長：渡辺 靖光
部活動地域連携・移行統括コーディネーター：遠藤 元博
教育総務係(書記)：藤本 来夢
7. 案件 (1) 北秋田市教育大綱の一部変更について
(2) 北秋田市総合教育会議運営要綱の一部改正について
(3) 令和6年度 主な教育施策について
(4) 「北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画」について
(5) 意見交換

8. 会議録

金澤教育次長	ただいまから、令和6年度第1回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 初めに、津谷市長より挨拶をお願いいたします。
津谷市長	令和6年度の第1回北秋田市総合教育会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。教育委員の皆様方におかれましては、日頃より、本市の教育行政の発展にご尽力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。 まずは熊ですけれども、昨年来、市街地に熊が出没し、皆様にも大変ご心配を頂いております。昨日も清鷹小学校の近くに熊が出たという目撃情報もありました。本当に緊張の毎日でございます。そういった意味では学校関係者だけではなく、私ども市行政また教育委員会、さらには、地域住民の方々が一体となって、子どもたちを熊被害から守る取り組みをしていかなければならないという認識を改めてしているところです。どうか皆様方からも、ご協力を頂きますように心からお願い申し上げる次第です。 さて、令和6年度は、昨年度に引き続き、部活動の地域移行に向けた事業展開を行っていくほか、架け橋期における教育推進体制の強化といたしまして、将来の「架け橋プログラム」策定に向けた関係機関との連携推進を図り、幼保・小連携により子どもたち一人一人がスムーズに小学校生活に適応し、新しい環境になじみ意欲的に過ごせるようになるための手助けをしていきたいと思っております。 また、昨年の義務教育学校阿仁学園の開校、今年度の米内沢・前田小学校の統合など、子どもたちを取り巻く教育環境の整備を進めておりますが、本年度におきましても、鷹巣小、鷹巣東小、綴子小の統合計画に向けた保護者の方や地域住民の方との意見交換などが予定されております。計画を進めるにあたり、子どもたちの学習環境そして地域と教育との共生を考えながら丁寧に進めていく必要があるかと思っておりますので、引き続き皆様方から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。 本日の会議では、今年度の主要な教育施策と北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画が案件となっておりますので、委員の皆様方から貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。 本日はよろしく願いいたします。
金澤教育次長	続きまして、佐藤教育長より挨拶をお願いいたします。
佐藤教育長	皆さんこんにちは。今月11日と12日、26日で、市内全ての学校の運動会・体育大会が、今年は最高の天候に恵まれて盛況のうちに終了しました。中学校や、義務教育学校後期課程の修学旅行も、最後の学校が本日帰ってくる予定であります。また、市内四つの高齢者大学では新しいメンバーが加わり、入学式が終了しました。学校教育、生涯学習とも、令和6年度も順調にスタートすることができて、とても

佐藤教育長	良かったと思っております。 しかしながら、先ほど市長からお話がありましたように、今年は春から熊の出没情報が多く、昨年のような事故が起こらないよう、学校とも情報を共有し、子どもたちの安全確保に万全の対策をしていかなければならないと考えております。21日、14時10分頃、鷹巣陸橋付近で目撃された際には、情報をすぐに鷹巣小学校、鷹巣中学校に伝えたところ、鷹巣小学校1年生の下校後の情報であったために、鷹巣警察署の巡回のほか、授業が空いていた先生方皆で通学路を巡回し、子どもたちの安全を確認しました。そのほかの学年の児童と鷹中の生徒は、保護者に送迎をお願いし、教育委員会からも職員が現場近くに行き、状況を確認いたしました。私も翌朝、登校状況視察に鷹巣小学校へ行きましたが、保護者の送迎については、昨年度の経験を生かしたスムーズな対応ができておりました。子どもたちへの熊対策の集会も、鷹巣小学校や綴子小学校、合川小学校などですで行われており、今後も油断せずに対応してまいります。 本日の総合教育会議では、市の機構改革に伴う変更や改正、教育委員会の今年度の主な教育施策、全国の市町村で取り組み始めた中学校部活動の地域移行についてを主な案件として事務局から提案がありますが、委員の皆様からも忌憚のないご意見を頂きますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。
金澤教育次長	ありがとうございました。 それでは、案件に入らせていただきます。「北秋田市総合教育会議運営要綱」により、議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いいたします。津谷市長、よろしくお願いいたします。
津谷市長	それでは、暫時、議長を務めさせていただきますので、皆様ご協力をお願いいたします。 初めに、案件（1）北秋田市教育大綱の一部変更について、説明をお願いします。
佐藤教育総務課長	＜大綱の一部変更について説明＞
津谷市長	ただいま説明のありました内容について、委員の皆様からご意見、ご質問等ございませんか。
委員	ありません。
津谷市長	それでは、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。

津谷市長	皆様の同意をいただきましたので、大綱については原案のとおり変更させていただきます。 次に案件（２）北秋田市総合教育会議運営要綱の一部改正について説明をお願いします。
佐藤教育総務課長	＜北秋田市総合教育会議運営要綱の一部改正について説明＞
津谷市長	ただいまの説明につきましても、ご意見、ご質問等ございませんか。
委員	ありません。
津谷市長	なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
津谷市長	皆様の同意をいただきましたので、要綱については原案のとおり改正いたします。 次に案件（３）令和６年度主な教育施策について、各担当課長から説明をお願いします。初めに、学校教育関係について、教育総務課長、学校教育課長からお願いします。
教育総務課長 学校教育課長	＜学校教育関係 説明＞
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
藤本委員	教育総務課へ２点申し上げます。 子どもたちの学校の環境が非常に改善されていることは、学校訪問などからも感じています。今後は、学校地内の土俵やセミナーハウス、学校の端にある汲み取り式のお手洗いなど使用されていない設備について、撤去したり改修したりと、そういったところにもぜひ目を向けていただきたいなと思います。 ２点目は、大変好評な短期チャレンジ留学ですが、児童生徒だけではなく、ぜひそのご家族と北秋田市との繋がりも大切にさせていただいて、これからも北秋田市の良さを市外の方にたくさん広めていただきたいなと思っています。
佐藤教育総務課長	ありがとうございます。使われていない小中学校の施設につきましては、予算要求時の段階で学校の先生たちからご意見をいただいております。先ほど藤本委員からご指摘いただいた通り、取り壊す必要があるものについては、順次財政課との調

佐藤教育総務課長	整を図り、進めてまいりたいと思っております。 また、短期チャレンジ留学につきましては、現在子どもたちを対象にして、短期チャレンジ5日間、北秋田市を満喫してもらっていることですが、今、市長部局のほうで進めている保育留学とも連携をしながら進めていきたいと思えます。そして、せっかく北秋田市に来てくれた子どもたちについては、市内からパンフレットを送ったり、特産品のものを送ったり、色々なものを提供しながら、繋がりを持っていければと考えておりますのでよろしくお願い致します。
藤本委員	ありがとうございます。
佐藤英樹委員	1点目、鷹中体育館の改築事業について、遺跡の試掘調査期間がどれくらいかかるのかということと、2点目は、給食費が小学校40円、中学校が45円値上がりしたようですが、これで今年度はやっていける見通しがあるのかどうか、この2点についてご質問させていただきます。
佐藤教育総務課長	まず1点目、鷹中体育館の遺跡の試掘調査につきましては、遺跡がある場所に、体育館の基礎を打てないということがございまして、その把握のために調査を行うものでございます。6月議会で承認が得られれば、1か月ほどで場所を選定して実施設計のほうに反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。 給食につきましては、学校給食運営委員会等で協議をして進めてまいりましたが、今年度については、再度値上げをすることは一切考えておらず、十分子どもたちに栄養価のある給食を提供できると考えております。
佐藤英樹委員	ありがとうございます。
蒔苗委員	遺跡の試掘調査について、今までどこまでやっていたのかということと、今後遺跡が見つかった場合、際限なく調査を続けるものなのか、お伺いしたいです。
佐藤教育総務課長	試掘の調査につきましては、まず、遺跡が見つかった場合建物が建てられないということになりますが、今の鷹巣中学校の体育館は45年以上経過をし、耐力度がないため、遺跡が見つかった場合、別の場所を選定することを考えていく必要があります。校舎についた体育館なので、離すというわけにいかないの、遺跡が出てきたときには、体育館の候補地を再度検討することになるかと思えます。 遺跡が出てきた場合の対応としては、文化財係担当ですので、生涯学習から説明いたします。
山本生涯学習課長	今回の試掘につきましては、胡桃館遺跡の隣接地ということで、建設予定地の試

山本生涯学習課長	掘を行う予定になっております。今回体育館に近い場所と、駐輪場の2か所を予定しておりまして、出てきた場合には、そこには建設しないということでまた埋め戻しますし、試掘して何もないという場合は、そこに建設できることになると考えております。選定地2か所の両方を試掘して、そのあとまた協議をしていただくというふうに向っております。
蒔苗委員	今体育館が建っているところには遺跡はないのですか。
山本生涯学習課長	そこにつきましては、当時のことが分かる資料がないので、新しく建てる建設予定地の体育館に近い場所と、駐輪場の2か所を、建設予定地候補として試掘をする予定としております。
蒔苗委員	ありがとうございました。
藤本委員	学校教育課に3点お伺いします。GIGAスクール構想について、タブレットの活用は、まずは使ってみるという段階から、先生方の知識や技術が向上なさって、もう一つ上の段階になっているなということを学校訪問で感じることができました。また、小学校では4年生が1年生にタブレットの使い方を教えていたり、とても良い形で進んでいることを実感しています。それだけ授業でタブレットを活用していると、テキストも出して、タブレットも出してと、机の上が手狭になるのではないのでしょうか。先日、机の前を10センチほど延長できる天板を活用している学校がインターネットで紹介されていました。天板には縁がついていて、筆箱や鉛筆なども落ちにくく、割と簡単に取り付けられるものでしたので、北秋田市でも検討しているものかと思いました。
茂内学校教育課長	現時点では、各学校で購入する計画はございません。タブレットは毎朝児童が保管庫から教室に持ってきて、学校によって机の脇の袋に入れたり、後ろの棚に置いております。タブレットを使用する際は、教員が「ノートはここに置きましょう」と指示をし、場所を作って使用しております。
藤本委員	ありがとうございます。2点目ですが、ネットや新聞などで「ブラック校則」が話題になることがあります。北秋田市では数年前に鷹巣中学校で、生徒の声から、Tシャツやソックスの色について、白限定から黒や紺でもよいと改善されました。今年度から息子の通う森吉中学校でも、生徒の話合いによって、Tシャツやソックスなど、白以外も着用できるよう改善されています。このように押しつけるルールではなく、生徒が声を上げ、生徒たちで改善していくという、とても良い学校の雰囲気があるなど実感しています。 3点目ですが、「架け橋プログラム」ということで、小学校の卒業式と入学式に

藤本委員	お邪魔させていただいた際、来賓の保育園の先生と学校の教頭先生がとてもよく会話なさっていて良好な関係が築けているなど感じましたので、今後も情報交換を続けてほしいなと思いました。
津谷市長	ありがとうございました。藤本委員からは、実際学校で感じたことを述べていただきました。
茂内学校教育課長	校則に関しましては、学校のほうでも、先生から校則を守らせるというだけではなく、生徒が実際に自分たちで考えて判断して、自律的なことを育成していこうと進められている面もありますので、今後も進んでいくものと思っております。 幼保・小の良好な関係についても、ご指摘を頂きありがとうございます。今年度4月に、校長、幼稚園、保育園の園長を対象にした研修会を皮切りに、さらに、先生方にその必要性を伝えていただいて進めていくという計画になっておりますので、引き続き推進してまいりたいと思います。
津谷市長	他にないようであれば、次に生涯学習関係について、生涯学習課長からお願いします。
山本生涯学習課長	<生涯学習関係 説明>
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
蒔苗委員	文化財の管理について、「北秋田市の教育」に文化財のリストがありますが、これは引き続き教育委員会の中の生涯学習課でやるのか、有形文化財と無形文化財で、観光文化スポーツ課と役割分担ができているのかどうかお伺いしたいです。
山本生涯学習課長	登録の指定文化財につきましては全て生涯学習課で確認を行っていくことになります。伊勢堂岱遺跡につきましては、文化スポーツ課世界遺産係の所管となりますので、管理もしていきますが、有形・無形の文化財につきましては生涯学習課の所管となります。
蒔苗委員	それでは、文化スポーツ課の所管は伊勢堂岱遺跡だけだということですか。
山本生涯学習課長	そうです。あとはそれに付随し、埋蔵文化財など出てきたものについても、活用の面などありますので、文化スポーツ課のほうで活用には使っていくことになると思います。
蒔苗委員	活用できるもの、活用しないものとの選別はどのように行うのですか。

山本生涯学習課長	それについては二つの課で協議させていただいて、連携しながら進めていきたいと考えております。
蒔苗委員	定期的に協議する場を設けるのか、それとも問題があるときにだけ集まるのか、どのように連携するかということが少し心配なのですが。
山本生涯学習課長	実は毎日職員同士やりとりをしておりますし、同じ市役所の中におりますし、昨年まで生涯学習課にあった係でもありまして、お互いがやりやすいような形で協力体制ができていると思っております。
津谷市長	なるべくそれぞれに負担がかからないように、きちんとやっていただきたいなと思います。ほかにございますか。
藤本委員	冬のスノーキャンドルフエスティバルに行ったとき、阿仁異人館・伝承館を見学しようとして、全員入館料がかかるということで結局入らずに帰ったご家族がいました。今年度から入館料が無料になりましたので、例えば阿仁学園の子どもたちがマタギ文化を学習した研修成果を掲示したり、子どもたちが考案して缶バッチのガチャガチャを作るなど、行くたびに何か変わっていて、何回も来てくださるような取り組みや方向性があれば教えてください。
山本生涯学習課長	生涯学習課が今年から担当することになりましたので、施設がせっかく無料になったことですし、阿仁地域にあるということで、皆さんに足を運んで頂けるようにするにはどうしたらよいか、計画を練っていく予定としております。色々具体的なご提案を頂いて、ありがとうございます。
佐藤教育長	今の話に関連しますが、浜辺の歌音楽館も展示が変わらない状態で、リピーターを今後どのように増やしていくかを課題としていかなければならないと思っていたので、今回「みんなのフリーコンサート」を1月から始めて、非常に手応えを感じることができました。市民の人たちが楽しみにしてくださっていて、今回も50人ぐらい来たと聞いているので、阿仁異人館も・伝承館も、地域の人たちはもちろん、市外から来た人も楽しめるようなアイデアを考えていければなと思っています。時間はかかるかもしれませんが、地域の人たちとも話し合いをしながら進めていければと思います。
山本生涯学習課長	ひとつご報告です。無料にいただいたことで、来館者のほうはおかげさまで増加傾向にありまして、この後また増加を維持するような仕組みを作っていきたいと思っております。5月中間で、昨年よりも百人ぐらい多くなっているということ

山本生涯学習課長	で、昨年は150人ほどだった来館者が今年は250人という連絡をいただきました。内陸線もありますので、そういったところとも連携をしながら、今後も来ていただけるような施設にしていきたいと思っております。
佐藤英樹委員	「3 北秋田市民ふれあいプラザについて」の「3) カフェ、チャレンジブースの利活用」とありますが、市外からの来客があった際、日中に駅周辺でお茶を飲んで休める場所がないということで、以前コムコムのカフェを利用させていただきました。しかし、いつも新しいテナントが入ってもすぐに撤退してしまい、その原因は何であるかということで、テナント料が高いとかという意見も出ているようですが、やはりせっかく利用者があだけいる施設ですので、常にお茶を飲んで、ほっとできる場所を提供できるように、生涯学習課としても今後検討を重ねて、進めていただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。
山本生涯学習課長	現在カフェが入っていないということで、スペースが寂しい状態になっておりますので、解消に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思っております。
津谷市長	コムコムは高校生の利用も多いので、例えばスターバックスをここに持つてくることは無理だと思うけれども、持って歩けるようなカップを使って、おしゃれな雰囲気を感じることができるといえるような業者さんでも入ってくれば、続くのではないかなと思っています。ただ、なかなかやはり申込みがなくて大変ですが、色々工夫をしながら何とかテナントを引っ張ってきたいと思っています。皆様からのお力添えもいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
佐藤教育長	「公民館講座」について、先日、社会教育委員の会議があり、委員の方から「大館では、短期講座で学びの大学を始めて、若い人たちも参加できる講座があっという間」とお話がありました。当市はもっと以前から、どの世代でも参加できる講座を行っているとお話しましたが、やはり当市の弱いところは、いつやるか分からないことだと思います。業種によっては、2か月前にはシフトが決まっているところもあるようなので、講座の開催がもっと早く分かれば、シフトに組み込んでいけるのではと思います。そして、やはり市民が一番見ているのは広報なので、広報の中で早めに短期講座を宣伝して、たくさんの人たちに来てもらえるような工夫をしていきたいと思います。
山本生涯学習課長	先日、生涯学習の奨励員の会議があり、その中でも情報発信が大切だという話になりました。広報はもちろん、市のSNSなども有効に活用できるように、力を入れていきたいと思っております。
津谷市長	それでは、(3)の案件につきましては、本日出された様々なご意見、ご提言を

津谷市長	考慮しつつ、次年度にもつながる継続性を重視した施策を進めていただきたいと思います。 次に案件（４）「北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画」について、学校教育課長から説明をお願いします。
茂内学校教育課長	こちらに関しては、統括コーディネーターから説明させていただきます。
遠藤統括コーディネーター	<「北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画」 説明>
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
藤本委員	今、息子の通っている中学校では、週３日以上学外で活動していれば、学校の部活動に入らなくてもいいというルールもあるようですが、基本的に必ずみんな部活動に所属する決まりになっていて、実際部活の選択肢が少なくて困っているという声もあります。例えば、小学校からダンスをやっていて、中学生になって本格的にやろうかなと思っていた女の子がいますが、彼女の場合はダンスの活動が一日、二日しかないため、学校の部活動に入る必要があります。例えば陸上部に入ってリレーの選手になると、結局土日が大会になって、やりたかったダンスができなくなってしまって、また、親としても、先生に取り計らってくださいということも難しいなと思います。ですので、今後はルールの見直し自体も必要になってくるのではないかなと思います。もし週１回の学外活動でもよくなれば、あまり気の進まない部活動に必ず入らなければいけないということがなくなり、例えば少年少女合唱団の活動は土日がメインですが、その活動を頑張りたいということになれば、少年少女合唱団も浜辺の歌音楽館で平日の夜練習に参加できるようになります。今のルールだと、小学校を卒業するとほとんどの中学生が部活動のため合唱団に参加することが難しくなります。中学生も高校生も参加できる少年少女合唱団なので、今後の移行計画の意見の一つとして考えてくださればいいなと思いました。
茂内学校教育課長	「生徒のスポーツ文化活動環境の整備充実」ということが今回の計画の大きな目的でございますので、様々な活動ができるようにする方向で、今後学校とも協議をしていかなければならないと考えております。
佐藤英樹委員	過疎地域で部活動地域移行を進めるのは、大変難儀されていると思います。ただ、いずれは進めなければいけないので、前回の教育委員会の中でも、少子化が加速するこの地域において、１０年スパンというのはすごく長過ぎると思います。担当の遠藤先生も大変ご苦労されているようですけれども、１０年といわず１年でも早く移行できるように、ぜひ頑張ってくださいということが、私の意見の一つ目です。それから、指導者の実費、経費については、行政で負担できるのであれば幾ら

佐藤英樹委員	か負担してくれれば、子どもたちに還元できて良いかと思いますが、やはり子どもたちの経費については、保護者の持ち出しとなりますので、保険や活動費は、外国のスポーツクラブもそうですけど、受益者負担で進めていくということを共通理解のもとで考えていかなければならない事項だと思います。
遠藤統括コーディネーター	完全に地域のクラブとして独立していれば完全に保護者の受益者負担ということになりますが、月4回程度外部指導者に指導してもらっていますが、完全に外部指導者は無償ボランティアで頑張ってくださいしております。それをまず、事業の予算もありますので、まずは月4日からスタートして、今の登録料や自分の用具を購入する補助金は今までゼロから少し謝礼で足しにすることができるので、あくまで地域クラブの過程としては、謝礼という形で補助をすると考えております。
蒔苗委員	外部指導者の資格の認定は各スポーツ団体でやるものなのでしょうか。
遠藤統括コーディネーター	先日競技団体の会長を呼んだ際にもそのことを指摘されたのですが、指導者の資格というのは、大概きちんとした資格が必要になっているものが多いのですが、その資格が微妙に競技団体によって違います。現時点でその資格については自己負担でとることになっておりますが、この後、様々な競技団体とそれぞれ話し合いを進めながら、学校で指導するための普段の指導でも必要なのか、あるいは大会にどんな資格が必要なのかということを、競技団体としっかりと確認し合いながら進めていきたいと考えております。
蒔苗委員	もう一つ質問です。地域のクラブの目標というのは、競技者として強くなることを目的としているのか、みんなと協調してやることを目的としているのか、バランス取れればいいのでしょうか、指導者によって温度差があると思いますが、それは将来的にどのようなようになると考えていますか。
遠藤統括コーディネーター	やはりいわゆる勝利至上主義というか、強くなつてうまくなればそれでよいという地域クラブは、いずれ衰退していくと考えます。やはり、競技力の向上、あるいは人間性の向上、あるいは仲間、社会性を育てるといったような総合的な立場、現地で子どもを育てるというそういう運営になっていかないと結局長くは続かないので、先ほど言いましたように、教育委員会、そして競技団体と協力しながら、設立されるクラブが協力して運営していくということがやはり理想的だと思っております。
津谷市長	よろしいでしょうか。まだまだお話を聞きたいところではありますが、時間の関係で、(4)「北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画」につきましてはここまでとさせていただきます、(5)意見交換に入らせていただきます。特に、テ

津谷市長	一マを限定せずに「北秋田市の教育について」、日頃感じていること、課題等、皆さんからご意見、ご提言をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
藤本委員	国立市との交流事業の中で、昨年度は国立市の先生と一緒に学校訪問させていただきましたけれど、今年も国立市の子どもたちとオンライン授業をやっているとか、やる予定とかがあれば教えていただきたいです。
茂内学校教育課長	現在鷹巣小学校と合川中学校で、児童や生徒がオンラインでの交流を予定しております。内容についてはこれから詰めていく予定でございます。
藤本委員	ありがとうございます。
津谷市長	ほかにございますか。なければ意見交換はここまでとさせていただきます。 皆様方からは本当に貴重なご意見を頂きました。心から感謝を申し上げまして、議事進行を事務局にお返ししますので、よろしくお願いします。
金澤教育次長	ありがとうございました。 続いて、「その他」でございますが、何かございますか。 ないようであれば、以上をもちまして、令和6年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。 本日は誠にありがとうございました。

(午後2時45分 閉会)